

させることを目標としたが、結局空気取入口たる孔の個数形状によってきまることが分った。われわれはあらゆる条件について試みたわけではないが、流体の縮流効果を利用することによって $C_p \sim -0.1$ 程度には近づけうるだろう。これは 40m/sec の風速で 1mb の誤差に相当する。しかし風向に影響されない sensor は風速に左右されるし、逆に風速に安定な sensor は方向に左右されるので、これ以上の性能は期待できないと考えられる。

本実験は気象庁風洞施設を利用させて頂いた。宇野義

郎氏はじめ同系の諸氏、ならびに終始有益なご教示をいただいた清水逸郎氏に厚くお礼申しあげる。

参考文献

- 1) Kodama, M., Y. Ishida and I. Shimizu, 1967 a: Development of barometric sensor insensitive to high winds, J. Meteor. Soc., **45**, 191-195
- 2) Kodama, M., H. Gotoh and H. NaKatani, 1967b: On a digital recording marine barometer, Sci. Papers I.P. C.R., **61**, 1-6
- 3) 清水逸郎, 矢島幸雄, 宇野義郎, 佐藤高, 松岡登志, 1967: 気圧の取入口, 天気, **14**, 147-150

第14期 第20回 常任理事会 議 事 録

日 時 昭和43年6月13日 16.00—19.00

場 所 気象庁予報部会議室

出席者 畠山, 北岡, 小平, 神山, 大田, 根本, 岸保, 朝倉 (常任理事)

議題: 1. 次期役員への引継事項

- (1) 春季総会において議決された定款変更を文部大臣に申請し認可を受けること。
- (2) 選任された第15期役員を東京法務局に登録すること。
- (3) 昭和44年度の当番支部を決めること。(関西支部の予定)
- (4) 名誉会員の内規の確認と, 和達清夫会員の推薦を検討すること。
- (5) 米国の気象学会との joint meeting.
- (6) 集誌など paper charge の徴収を検討すること。
- (7) 予算編成方法として気研ノートを特別会計とし, 事業部予算とすることを検討すること。

(8) 評議員制の運用について検討すること。

(9) 賛助会費の増額を交渉すること。

2. 学会推薦の学術会議会員候補者について

日本学術会議では7月11日から25日まで学術会議会員の立候補を受付けることになっている。

学会としては, 立候補者の届出を受けて, 全会員の投票により推薦候補者を定める時間的余裕がないので, 各支部及び全理事より全会員のうちから推薦候補者としてふさわしい者3名と, 学会の推薦を受けて立候補したい者を6月30日までに出して貰い, これを全会員に投票させ上位3名を学会推薦候補者とするこことし, その手続きを進めることになった。

第5回災害科学総合シンポジウム講演募集

文部省科学研究費特定研究(災害科学)の災害科学総合研究班(研究代表者 徳島大学長理博 長谷川万吉)が中心となり, 災害科学に関する研究発表と討議の機会を提供する目的を以て, 下記により総合シンポジウムを開催いたしますので, 本学会はこれを後援することにいたしました。ふるって御参加下さるようご案内します。

1. 期 日 昭和43年11月11日(月) 10.00—17.00

12日(火) 9.00—12.00

2. 場 所 東京都台東区上野公園 国立科学博物館

3. 講演申込要項

- (1) 内 容 異常気象, 強風災害, 雪氷災害, 河川災害, 海岸災害, 津波高潮, 地盤災害, 地震予知, 地震動災害, 火山噴火予知, 農林災害, その他

(2) 講演申込締切 8月10日, 講演題目, 氏名, 勤務先および講演内容の概要(400字以内)を記し, 下記宛に申込むこと。

(3) 講演要旨の提出 締切8月31日所定の用紙2枚または4枚(図表を含む)の講演要旨を下記宛提出のこと。

用紙は請求次第送付する。

(4) 申込先 東京都文京区弥生1-1-1

東京大学地震研究所

大 沢 胖

電話 (812) 2 1 1 1 (代表)

内 線 4 4 9 7